



平成 26 年 11 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ウチヤマホールディングス

代表者名 代表 取 締 役 社 長 内 山 文 治

(コード番号: 6059、東証第一部)

問合せ先 専務取締役経営企画室長 山 本 武 博

(TEL. 093-551-0002)

## 九州大学「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業」参画に関するお知らせ

当社連結子会社の株式会社さわやか俱楽部は、国立大学法人九州大学が採択された文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」<sup>(※1)</sup>「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業(COI ビジョン対話プログラム)」の「高齢者の視点からのソーシャルインクルージョンCOI」事業に参画することになり、取組みを行っておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1 概要

当社は、国立大学法人九州大学が採択された文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」<sup>(※1)</sup>「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業(COI ビジョン対話プログラム)」の「高齢者の視点からのソーシャルインクルージョンCOI」事業に参画し、介護施設でのサービスの質の向上や、住みよい施設を目指していきます。本事業によって、介護施設など高齢者に関わる様々な気づきを対話によって収集・分析し、高齢化社会の重要課題を発見します。さらにプロトタイピング手法(試作品の作成・検証を反復すること)によって、アイデアの可視化・共有化を行い、事業化に結びつけることを目的としています。また、公益財団法人北九州産業学術推進機構、一般社団法人生き方のデザイン研究所などの機関が本事業の拠点として参画・連携し、革新的なイノベーション拠点の創出を行います。

## 2 背景

文部科学省が実施する「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業（COI ビジョン対話プログラム）」はイノベーションに繋がる共同研究を促進するためのモデルとして、連携を行う大学等・企業等のシーズ・ニーズ創出プロセスにデザイン思考のプロセスを導入することを支援し、今後の政策に反映するとともに、COI STREAM の各ビジョン<sup>(※2)</sup>に沿った将来ニーズ等が共有され、10年後の日本が目指すべき姿の実現に貢献することを目的とされています。

### 【用語解説】

※1：革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM : Center of Innovation Science and Technology based Radical Innovation and Entrepreneurship Program）

文部科学省が平成25年度より開始。現在潜在している将来社会のニーズから導き出されるるべき社会の姿、暮らしの在り方を設定し、10年後を見通した革新的な研究開発課題を特定した上で、既存分野・組織の壁を取り払い、企業だけでは実現できない革新的なイノベーションを産学連携で実現することを目的とする。下記参照。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/coi/\\_icsFiles/afielddfile/2013/04/22/1333731\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/coi/_icsFiles/afielddfile/2013/04/22/1333731_1.pdf)

九州大学大学院芸術工学研究院では、ユーザーとともに考える「デザイン思考」を用いて、製品やサービスのデザイン研究を行っています。介護施設における介護は複雑な課題ですが、介護の未来をデザインする提案を開発します。

※2：ビジョン1 少子高齢化先進国としての持続性確保

：ビジョン2 豊かな生活環境の構築(繁栄し、尊敬される国へ)

：ビジョン3 活気ある持続可能な社会の構築

## 3 内容

今後、日本社会が少子高齢社会に向かう中で、活力ある産業と経済成長を維持するためには、東京、大阪のような大都市圏だけではなく、地方都市の活性化が重要です。福岡県は、福岡市、北九州市の二つの政令指定都市を有し、特区構想を認められるなど、地方行政として九州地域全体のイノベーションリーダーとしての性格を持っています。特に、北九州市は、かつて「鉄の街」として栄えましたが、製鉄業の減縮と共に産業活力が失われ、高齢化率が政令指定都市中第1位の、言わば「少子高齢化対策モデル都市」となっています。

そこで、産：当社の介護現場の知見と官：公益財団法人北九州産業学術推進機構のもつ社会ネットワークを活用し、学：九州大学が社会イノベーションに取り組みます。

本事業は、COI STREAM ビジョン1「少子高齢化先進国としての持続性確保」の実現に寄与します。その際に重要なことは、技術ありきではなく、テーマに謳われている人間の「Happiness」の追究です。COI 手法を活用したユーザー起点のプロセスにより、高齢者の生活の視点から捉えるホリスティックなアプローチを行い、従来手法では見過ごされてきた課題発見に取り組みます。高齢者はまさに社会的に見過ごされてきたエキストリーム（境界線の）ユーザーであり、本事業に適合する取組みであると考えます。

## COIビジョン：「少子高齢化先進国としての持続性確保」



### ■参画機関名

国立大学法人九州大学（研究代表機関）

株式会社ウチヤマホールディングス（運営会社：株式会社さわやか俱乐部）

公益財団法人北九州産業学術推進機構

一般社団法人生き方のデザイン研究所

### 4 第1回ワークショップについて

平成26年10月24日（金）、弊社介護施設「さわやかレークサイド中の原」（北九州市）において、第1回ワークショップを開催しました。

ワークショップでは、参加者全員で介護施設の観察と介護施設の入居者へのインタビューを行い、デザイン思考によりユーザーのニーズや課題などを収集しました。



ワークショップの様子

以上